RV160およびRV260ルータでのポートフォワー ディングおよびポートトリガーの設定

目次

- •<u>目的</u>
- 該当するデバイス |ファームウェアのバージョン
- <u>概要</u>
- ポート転送の設定
- <u>ポートトリガーの設定</u>

目的

この記事の目的は、RV160およびRV260ルータでポートフォワーディングとポートトリガーを設 定する方法を示すことです。

該当するデバイス |ファームウェアのバージョン

RV160 |1.0.00.13

RV260 |1.0.00.13

概要

ポートフォワーディングとポートトリガーは、一部のインターネットユーザがネットワーク上の 特定のリソースにアクセスし、プライベートな状態を維持するリソースを保護できるようにする 機能です。

ポート転送では、ファイル転送プロトコル(FTP)などのサービスの特定のポートまたはポート範囲 を開くことで、ローカルエリアネットワーク(LAN)上のネットワークデバイス上のサービスにパ ブリックアクセスできます。ポート転送は、代替ポートを使用してサーバとLANホスト間の通信 を行うインターネットゲームなどのサービスのポート範囲を開きます。

ポートトリガーでは、ユーザがトリガーポートを介して発信トラフィックを送信した後、指定し たポートまたはポート範囲を着信トラフィックに対してオープンできます。ポートトリガーによ り、デバイスは特定のポート番号の発信データをモニタできます。デバイスは、一致するデータ を送信したクライアントのIPアドレスを呼び出します。要求されたデータがデバイスを経由して 戻ると、データはIPアドレッシングおよびポートマッピングルールを使用して適切なクライアン トに送信されます。

ポートフォワーディングおよびポートトリガーの詳細については、ここをクリ<u>ックしてください</u> 。

ポート転送の設定

ポート転送を設定するには、次の手順を実行します。

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインします。ルータのユーザ名とパスワードを入力し、[Login]をクリ**ックします**。デフォルトのユーザ名とパスワードは*ciscoです*。

この記事では、RV260を使用してポート転送を設定します。設定は、使用するモデルによって異なります。



Router



ステップ2:[Firewall] > [Port Forwarding]をクリックします。



ステップ3:[Port Forwarding Table(ポート転送テーブル)]で、[**add icon**]をクリックするか、行 を選択し、[edit icon]をクリックします)。次の項目を設定します。

Enable	[Enable]をオンにして、ポート転送を有効にします
外部サービス	ドロップダウンリストから外部サービスを選択します。(サービスがリストされてい
	Management]セクションの手順に従ってリストを追加または変更できます)
内部サービフ	ドロップダウンリストから内部サービスを選択します。(サービスがリストされてい
	Management]セクションの手順に従ってリストを追加または変更できます)
内部IPアドレス	サーバの内部IPアドレスを入力します
インターフェイス	ポートフォワーディングを適用するインターフェイスをドロップダウンリストから選

Port Forwarding Table				
+ 🖉 🕯 🕹 🕹	Service Management			
Enable	External Service	Internal Service	Internal IP Address	Interfaces
	All Traffic 🗸	All Traffic 🗸		WAN 🗸

サービスリストのエントリを追加または編集するには、次の手順を実行します。

ステップ4:[Service Management]をクリックします。

Port Forwarding Table	9			
+ 🕜 🛍 🕹 🕹	Service Management			
Enable	External Service	Internal Service	Internal IP Address	Interfaces

ステップ5:[Service Management]で[**Add**]*アイコンをクリック*するか、行を選択して[**Edit**]アイコン をクリ**ックします。**

次のように設定します。

Application Name:サービスまたはアプリケーションの名前。

Protocol:必要なプロトコル。ホスティングしているサービスのマニュアルを参照してください。

Port Start/ICMP Type/IP Protocol:このサービス用に予約されているポート番号の範囲。

Port End:このサービスに予約されているポートの最後の番号。

Service Management			Apply Cancel	Back
	Protocol	Dart Start //CMD Tune //D Drotogel	Dart End//CMD Code	<u>^</u>
	Protocol	Port Start/ICMP Type/IP Protocol	Port End/ICMP Code	-
	ALL			
L BGP	1CP	179	179	
DNS-TCP	ТСР	53	53	
DNS-UDP	UDP	53	53	
ESP	IP	50		
O FTP	TCP	21	21	
О НТТР	TCP	80	80	
O HTTPS	TCP	443	443	
ICMP Destination Unreachable	ICMP	3		
ICMP Ping Reply	ICMP	0		
ICMP Ping Request	ICMP	8		
ICMP Redirect Message	ICMP	5		
ICMP Router Advertisement	ICMP	9		
ICMP Router Solicitation	ICMP	10		

サービスを追加するには、プラス(+)アイコンをクリックし、名前、プロトコル、ポート開始 /ICMPタイプ/IPプロトコル、ポート終了/ICMPコードを設定します。

Service Management			Apply Cancel Back
+ ♂ ☆ ±			
C RTSP-UDP	UDP	554	554
□ SFTP	TCP	115	115
SIP-TCP	TCP	5060	5060
SIP-UDP	UDP	5060	5060
□ SMTP	TCP	25	25
SNMP-TCP	TCP	161	161
SNMP-TRAPS-TCP	TCP	162	162
SNMP-TRAPS-UDP	UDP	162	162
SNMP-UDP	UDP	161	161
SSH-TCP	TCP	22	22
SSH-UDP	UDP	22	22
□ TACACS	TCP	49	49
O TELNET	TCP	23	23
O TFTP	UDP	69	69
	TCP	1000	1000

サービスを編集するには、行を選択し、編集アイコンをクリ**ック**して、次のようにフィールドを 設定します。

Service Management			Apply
+ 🕜 🖻 초 🏝	Protocol	Port Start/ICMP Type/IP Protocol	Port End/ICMP Code
All Traffic	ALL		
□ BGP	TCP	179	179
DNS-TCP	TCP	53	53
DNS-UDP	UDP	53	53
□ ESP	IP	50	
S FTP	TCP	21	21
О НТТР	All TCP&UDP	80	80
HTTPS	TCP UDP	443	443
ICMP Destination Unreachable	IP ICMP	3	
L ICMP Ping Reply	ICMP	0	

この例では、FTPサービスが選択されています。

ステップ6:[Apply]をクリ**ックします**。

Port Forwarding	9			Apply Cancel
Port Forwarding Table	•			^
+ 🕜 🖮 🕹 🕹 D Enable	Service Management External Service	Internal Service	Internal IP Address	Interfaces
UPnP Port Forwarding] Table			^
External Service	,	Internal Service	Internal IP Address	Interfaces Status

ステップ7:ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)ポート転送テーブルで、更新アイコンをク リックしてデータを更新します。UPnPのポート転送ルールは、UPnPアプリケーションによって 動的に追加されます。

Port Forwarding			Apply	Cancel
Port Forwarding Table				^
Image: Service Management Image: External Service	Internal Service	Internal IP Address	Interfac	ces
UPnP Port Forwarding Table				^
External Service	Internal Service	Internal IP Address	Interfaces Statu	JS

ポートトリガーの設定

ポートトリガーを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインします。ルータのユーザ名とパスワードを入力し、[Login]をクリ**ックします**。デフォルトのユーザ名とパスワードは*ciscoです*。



Router



この記事では、RV260を使用してポートトリガーを設定します。設定は、使用するモデルによって異なります。

ステップ2:[Firewall] > [Port Triggering]をクリックします。



ステップ3:ポートトリガーテーブルにサービスを追加または編集するには、次のように設定しま す。

[追加]**アイコンを**クリックします(または、行を選択して[編**集]アイコンを**クリックし、情報を入力 します。

Enable アプリケーション名 トリガーサービス 着信サービス インターフェイス	ポートトリガーを有効にするには、オンにします アプリケーションの名前を入力します ドロップダウンリストからサービスを選択します(サービスがリスト Management)]セクションの手順に従ってリストを追加または変更で ドロップダウンリストからサービスを選択します(サービスがリスト Management)]セクションの手順に従ってリストを追加または変更で ドロップダウンリストからインターフェイスを選択します	ヽされていない場 できます) ヽされていない場 できます)
Port Triggering	Apply Cancel	
Port Triggering Table	^	

Incoming Service

Interfaces

ステップ4:[Service Management]をク**リックし**て、[Service]リストのエントリを追加または編集 します。

Port Triggering				Apply Cancel
Port Triggering Table				*
+ 🕫 🖮 🕹 🕹	Service Management			
Enable	Application Name	Trigger Service	Incoming Service	Interfaces

Trigger Service

ステップ5:[Service Management]で、アイコンの追加をクリック**するか**、行を選択して[edit]アイコンをクリ**ックします。**

次のように設定します。

+ 🖉 🛍 📥 📩

Application Name

Application Name:サービスまたはアプリケーションの名前。

Protocol:必要なプロトコル。ホスティングしているサービスのマニュアルを参照してください。

Port Start/ICMP Type/IP Protocol:このサービス用に予約されているポート番号の範囲。

Port End:このサービスに予約されているポートの最後の番号。

Service Management

Apply	Cancel	Back

(+ ⊘) 🖻 🕹 🕹				
Name	Protocol	Port Start/ICMP Type/IP Protocol	Port End/ICMP Code	
All Traffic	ALL			
□ BGP	TCP	179	179	
DNS-TCP	TCP	53	53	
DNS-UDP	UDP	53	53	
ESP	IP	50		
O FTP	TCP	21	21	
O HTTP	TCP	80	80	
HTTPS	TCP	443	443	
ICMP Destination Unreachable	ICMP	3		
ICMP Ping Reply	ICMP	0		
ICMP Ping Request	ICMP	8		
ICMP Redirect Message	ICMP	5		
ICMP Router Advertisement	ICMP	9		
ICMP Router Solicitation	ICMP	10		
C 101/201 10 0 10 1	10115	**		

サービスを追加するには、プラスのアイコンをクリックし*て、名前、プロトコル、ポート開始* /ICMPタイプ/IPプロトコル、ポート終了/ICMPコードを設定します。

Service Management			Apply Cancel Back
+ ☞ ± ±			
C RTSP-UDP	UDP	554	554
□ SFTP	TCP	115	115
SIP-TCP	TCP	5060	5060
SIP-UDP	UDP	5060	5060
□ SMTP	TCP	25	25
SNMP-TCP	TCP	161	161
SNMP-TRAPS-TCP	TCP	162	162
SNMP-TRAPS-UDP	UDP	162	162
SNMP-UDP	UDP	161	161
SSH-TCP	TCP	22	22
SSH-UDP	UDP	22	22
□ TACACS	TCP	49	49
O TELNET	TCP	23	23
O TFTP	UDP	69	69
	TCP	1000	1000

サービスを編集するには、行を選択し、編集アイコンをクリックして、次のようにフィールドを 設定します。

Service	Management
---------	------------

Name	Protocol	Port Start/ICMP Type/IP Protocol	Port End/ICMP Code		
All Traffic	ALL				
□ BGP	TCP	179	179		
DNS-TCP	TCP	53	53		
DNS-UDP	UDP	53	53		
C ESP	IP	50			
🐨 FTP	TCP	21	21		
О НТТР	All TCP&UDP	80	80		
O HTTPS	TCP UDP	443	443		
ICMP Destination Unreachable	IP ICMP	3			
U ICMP Ping Reply	ICMP	0			

この例では、FTPサービスが選択されています。

ステップ6:[**Apply**]をクリックします。

Port Triggering				Apply Cancel
Port Triggering Table				^
+ 🕜 🛍 🕹 🕹	Service Management			
Enable	Application Name	Trigger Service	Incoming Service	Interfaces

これで、RV160およびRV260ルータでポートフォワーディング/ポートトリガーが正しく設定され ました。